

平成30年度 青少年問題を考える地域懇話会

当協会では市町村民会議の活動を支援するため、地域の青少年問題について、有識者と地域の育成指導者が意見交換等を行う「青少年問題を考える地域懇話会」を開催しています。30年度は、江差町（9月）、根室市（11月）で開催する予定であり、今回、江差町において開催いたしました。

【江差町】テーマ「地域づくりに向けた担い手育成と社会教育の役割」

- 日時 平成30年9月27日(木)
- 場所 江差町文化会館
- 共催 江差町青少年健全育成会議
- 後援 江差町教育委員会
- 講話・意見交流助言者

「地域づくりに向けた担い手育成と社会教育の役割」
北海学園大学大学院経済学研究科・経済学部地域経済学科
教授 内田 和浩 氏

●コーディネーター

檜山教育局教育支援課社会教育指導班主査 安間 邦雄 氏

●概要

講話では、人口減少社会をどう生きるかが課題であり、縮充社会をめざした地域づくりが重要となります。江差町に、若者のUターン、孫ターン、Iターン（地域と関係ない人）、Jターン（自分の出身地の近く）を含め、多くの人を集めるためには、「住みたいと思うまちづくり」が重要です。江差町を伝える工夫として、「町の仕事の見える化」や「ふるさとキャリア教育」などが重要です。また、大人自身が、人任せにせず、「地域の誇り」を取り戻すために、地域に関わるすべての子どもから若者に「地域の良さ」を伝える社会教育をしてほしいというお話がありました。

意見交流では、参加者が4つのグループに分かれ、はじめに、講話の中で心に残ったことを短いキーワードにしました。次に、今後一人一人が取り組めそうなことを、○「すぐできること」、△「ちょっと時間をかければできること」、□「来年度以降時間をかければできること」というふうに分けてキーワードをつくりました。最後に、書いたものをグループ内で交流したり、他のグループの内容を見合ったりしました。

心に残ったこととして、「消滅都市にはなりたくない」、「中学や高校はなくしたらだめ」、「できることは今行動」、「地域のセールスポイント」、「地域の魅力」、「地域の仕事の見える化」などがあげられました。

今後できることでは、○すぐできることとして、「地域で仲良くする」、「挨拶をする」、「自宅にいる孫が江差を好きになるようにする」、△ちょっと時間をかければできることとして、「SNSで求人情報を流す」、「地域の企業が教育に参加する」、□来年度以降時間をかければできることでは、「若年層に対する郷土教育」など、町づくりのアイデアがたくさん出されました。

内田先生からは、「今後できそうなこととして、○すぐできること、△ちょっと時間をかければできること、□来年以降時間をかければできることを記入し、それを、誰と、どんな方法で実行するか考え、行動する。この方法は大変よい。皆さんの町づくりに生かしてほしい」という助言がありました。

